

会 議 概 要 報 告

1. 会議の名称	令和6年度潟上市自殺対策計画検討委員会
2. 開催日時・場所	令和7年2月26日
3. 委員等の人数	11人
4. 出席委員等の人数	9人
5. 議題	(1) 委員長・副委員長の選任について (2) 潟上市の自殺の現状について (3) 潟上市自殺対策計画及び各種取組の進捗状況について
6. 傍聴者の数	0人
7. 会議資料の名称	資料1 潟上市自殺対策計画検討委員会規則 資料2 潟上市の自殺の現状について 資料3 令和6年度潟上市自殺対策計画（第2期）進捗状況について 資料4 令和6年度心はればれゲートキーパー養成講座 アンケート集計結果 資料5 令和6年度 SOS の出し方に関する教育について
8. 会議の概要	<会議要旨> - 心はればれゲートキーパー養成講座の内容は難しいと感じる。 - 独居の方が精神科救急を受診する際に、患者の最近の状況について民生委員の方や地域の方が説明してくれるとありがたい。 <委員からの主な質問や意見> (1) 委員長・副委員長の選任について - 委員長に八木澤究委員、副委員長に市井治夫委員が選出され、全会一致で承認した。 - 委員長あいさつでは、委員会は様々な分野の方がそれぞれの視点から意見をいただけることについて大変心強く感じている。自殺対策には多方面の連携が必要不可欠であり、こうした意見交換が実効性のある対策に繋がると考えていると述べられた。 (2) 潟上市の自殺の現状について - 自殺者及び自殺未遂者について、精神科・心療内科の通院歴に関するデータはあるか。 →厚生労働省の「人口動態統計」や、いのち支える自殺対策推進センターの「地域自殺実態プロファイル」をもとに資料を作成しており、その中に通院歴に関するデータはありません。 (3) 各種取組の進捗状況について - 民生委員として心はればれゲートキーパー養成講座を受講したが、項目がたくさんあり難しい内容だと感じた。また、9月の高齢者月間に民生委員として一人暮らしの方にお菓子を配りなが

	ら訪問しているが、同居家族がいる高齢者からは「一人暮らしの方は気にかけてもらえていいな。」という声がある。同居家族がいる方が自殺者の割合が高いというデータもあるので、難しさを感じている。 ・市として今後力を入れていきたい事業はあるか。 →地域ボランティアであるメンタルヘルスサポーターが開催する、居場所づくりを目的としたサロン活動に力を入れていきたいと考えています。今年度は昭和出張所を会場に開催し、市民3名が来場しました。今後もメンタルヘルスサポーターと市が連携して定期的で開催し、サロン活動の幅を広げていきたいと考えています。 ・杉山病院では、県内地区ごとの輪番制度により、夜間休日にも精神科救急として当病院の患者以外にも対応する。家族がいれば患者の最近の状況について説明してくれるが、独居の方だと対応が難しいため、民生委員や地域の方から情報提供があれば大変ありがたい。
9. その他	・教員としてコロナ後から子どもたちのコミュニケーション力の弱さを感じている。今年度で東湖小学校が閉校・統合することで子どもたちが不安を抱えている中、SOS の出し方に関する教育において「生きているだけで100点。相談してもいいんだよ。」と教えてもらったのは大変有意義だった。今後は保護者も巻き込んだ事業もあればよいと思う。 ・消防の業務として自損行為を行った現場に行くことが多い。今後、自殺未遂や自殺念慮でとどまった本人と話すことができれば、誰かに頼りたいのか、頼りたくてもその方法が分からないのかを確認し、市では自殺対策計画のもと真剣に自殺対策に取り組んでいることや、窓口・相談方法等について本人に伝えて支援したいと思う。